



※、燃料デブリは炉心の加熱による溶融した核燃料が原子炉内構造物とまじり合っており、固まった物。

## 【制度概要】

「国家課題対応型研究開発推進事業」は、科学技術政策の遂行の観点から、国が直接実施する必要のある研究開発活動について、優れた提案を採択する競争的資金です。この中に「英知を結集した原子力科学技術・人材育成推進事業」も位置付けられています。

文部科学省では、平成20年度に新たな競争的資金制度として、「原子力基礎基盤戦略イニシアティブ」を創設し、原子力に関する基礎的・基盤的研究の推進がなされてきました。

平成27年度からは、「東京電力株式会社（現・東京電力ホールディングス株式会社）、福島第一原子力発電所の廃止措置等研究開発の加速プラン」等を踏まえ、「英知を結集した原子力科学技術・人材育成推進事業」が立上げられ、その中で「戦略的原子力共同研究プログラム」が推進されています。

「英知を結集した原子力科学技術・人材育成推進事業」は、早急な対応が求められる原子力分野の課題に正面から向き合い、課題解決に貢献するため、原子力分野における知見や経験のみならず、様々な分野の研究者が、従前の機関や分野の壁を越えて緊密に融合・連携することを通じて、原子力の課題解決に資する基礎的・基盤的研究を推進するものです。

「戦略的原子力共同研究プログラム」の新規課題公募のテーマ

【テーマ1】原子力利用に係る安全性向上のための基礎基盤研究

【テーマ2】放射線影響に係る基礎基盤研究